

いいね!クラシック
さくらホール
コンサート

パリ管弦楽団 ブラス・クインテット Quintette de Cuivres de l'Orchestre de Paris

名門「パリ管弦楽団」の首席奏者による
優雅で華麗な伝統のフレンチ・ブラス!



Celestin Guérin (Tp.)

Guillaume Cottet-Dumoulin (Tb.)

Stéphane Labeyrie (Tub.)

André Cazalet (Hr.)

Frédéric Mellardi (Tp.)

2023年

6月28日[水]午後7時開演(午後6時30分開場)
渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール(4F)

Program

- クロード・ル・ジュヌ：歌曲集「春」より「春はまためぐりくる」
- ジャン=フィリップ・ラモー：組曲より「アルマンド、サラバンド、未開人 ほか」
- クロード・ドビュッシー：小品集「亜麻色の髪の乙女、小さな黒人 ほか」
- ジョルジュ・ビゼー：カルメン組曲第1番(ミルス編)
- ジョルジュ・ドルリュエ：ステンドグラス(金管五重奏曲)
- イアン・マクドナルド：シー・スケッチ(金管五重奏曲)
- アンドレ・ラフォース：即興組曲(金管五重奏曲)
- ミシェル・ルグラン：ヒット曲メドレー(シェルブールの雨傘、風のささやき、イルカのウーム、マクサンスの歌、ロッシュフォールの恋人たち)

※曲目・曲順は変更の可能性がございます。ご了承ください。

全席指定4,000円/大学生(社会人学生を除く)2,000円/高校生以下1,500円(税込)
当日券は各席プラス500円(残席があった場合のみ開場時間より販売)

【チケットお申込み】

インターネット予約 ●チケットぴあ <https://t.pla.jp> Pコード：237-586
●ローソン <https://t.tike.com> Lコード：35924
●e+(イープラス) <https://eplus.jp>

4/18(火)
10:00
チケット発売

若手演奏家たちによる金管アンサンブルコンサート(解説付き)

日時：6月28日[水]17:00~18:00
場所：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール(4F) 同日開催
出演：栗(やわら)プラス
(Tp 守屋紗弥 Tp 武藤向日葵 Hr 吉田智哉 Tb 藤島裕也 Tuba 長澤照平)
演奏曲：アンドレ・ラフォース：即興組曲
TS brass
(Tp 富岡愛彩美 Tp 三上まどか Hr 井澤潤一 Tb 佐々木美桜 Tuba 松本匡偉)
演奏曲：ジョルジュ・ドルリュエ：ステンドグラス

入場無料(全席自由) ※要チケット
【お申込み】※公演チケット発売と同時に配布(文化総合センター大和田3階ホール事務室のみ取り扱い)
※開場は30分前、チケットに記載の整理番号順にご入場となります。

お問合せ 渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室
TEL.03-3464-3252 (受付時間10:00~19:00)

※未就学児のご入場・ご同伴はご遠慮ください。※車椅子席はホール事務室にお問合せください。都合により出演者等に変更のある場合がございます(不可抗力により発配日時の公演を中止する場合以外は、チケットの払い戻しは致しません)。最新の情報は和田大公式ホームページにてご確認ください。



渋谷区民先行優待販売

全席指定3,500円/大学生(社会人学生を除く)1,500円/高校生以下1,000円(税込)
3/25(土)から文化総合センター大和田(3F)ホール事務室にて直接販売(10:00-19:00)。なくなり次第販売終了。区内在住、在勤、在学を証明できるものを持参。発売日に残席があった場合は、翌日より電話予約可。

後援：日本トランペット協会 / 日本ホルン協会 / 日本トロンボーン協会 / 日本ユーフォonium・チューバ協会

www.shibu-cul.jp 主催 渋谷区

パリ管弦楽団はパリ音楽院管弦楽団(1828年創設)を母体として当時の文化大臣アンドレ・マルローの提唱により文化大国フランスの威信をかけて1967年に創設された。初代音楽監督はアルザス生まれの名指揮者シャルル・ミュンシュ、以後カラヤン、ショルティ、バレンボイム、ピシュコフ、ドホナーニ、クリストフ・エッセンバッハ、パーヴォ・ヤルヴィが順に楽団を率いた。2016年のシーズンよりダニエル・ハーディングが音楽監督を務めている。個々の技術が卓越したミュージシャンにより構成されているパリ管弦楽団では、フランス音楽を表現するのに適したクリアで色彩的な音色を持つ管楽器セクションに特長がある。特に金管楽器セクションからは胸のすくような透明なトーンと華麗で絶妙なアンサンブルを聴くことができる。パリ管弦楽団プラス・クインテットは全てのメンバーがパリ管弦楽団の首席ソロ金管楽器奏者であり、彼らの奏でるオール・フランス音楽プログラムは管楽器ファンのみならず日本の全ての音楽ファンを満足させるに違いない。



フレデリック・メラルディ(トランペット)

16歳でパリ国立高等音楽院に入学。3年後に満場一致の1等賞で卒業。すぐにケント・ナガノが音楽監督を務めるリヨン国立歌劇管弦楽団首席ソロ奏者に就任。1997年ピシュコフに請われパリ管弦楽団の首席ソロ奏者に就任。ジュリーニ、ブーゼスらもとで演奏。世界の優秀な奏者で構成されるスーパー・ワールド・オーケストラで度々来日。96年ポルチア国際コンクール(イタリア)1位、ソリストとしても積極的に活動し、ヴェネツィアのバドゥア管公演でのオルガンとの共演や国立リヨン歌劇管とのヘンデミットのトランペットとファゴットのための重協奏曲、ブリュッヘン指揮パリ管とのハイドンの協奏曲、ロストロポーヴィチが晩年にパリ管を指揮したショスタコヴィチのピアノ協奏曲などに出演。また、ターリヒ弦楽四重奏団との共演やパリ管弦楽団プラスクインテットの日本公演など室内楽においても高い評価を受ける。演奏ツアー、録音も活発で、金管アンサンブル、プロ・プラスに参加。さらにIndesensレーベルでの数々の録音は高い評価を獲得した。バンドジャーナル誌2014年1月号で表紙を飾った。



セレスタン・ゲラン(トランペット)

5歳の時にトランペットを習い始める。フランス国立放送フィル奏者のイバイム・マルフ、ジェラルム・ブーランジェに師事したのち、パリ音楽院入学後、パリ管弦楽団奏者のクレモン・ガレック、ピエール・ジレに師事。パリ音楽院の両教授の下でオーケストラ・レパートリーの研鑽を積み、パリ国立歌劇場、パリ管弦楽団、フランス国立フィル、パリ室内管弦楽団の公演に参加。エラスムス(ヨーロッパの留学制度)の留学生としてドイツのランホルト・フリードリヒに師事しコンチェルトのレパートリーに磨きをかける。2016年には満場一致でマスターを取得し、ヴァレリー・ゲルギエフが指揮するヴェルビエ音楽祭管弦楽団のメンバーとなる。2017年秋、ルーアンで開催された第1回エリック・オビエ国際コンクール優勝者となる。数週間後、国立メス管弦楽団の首席奏者に任命される。翌年、ミュンヘン国際音楽コンクール2位を受賞、同時にBRクラシック賞を受賞した。2019年、パリ管弦楽団に首席ソロ奏者として入団。



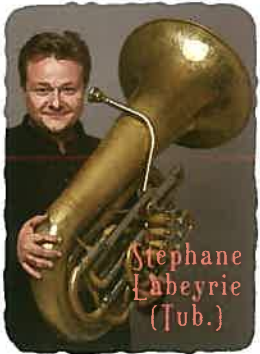
アンドレ・カザレ(ホルン)

パリ音楽院を2つの1等賞を得て卒業。ブーゼス率いるアンサンブル・アンテルコンタンポランのソリストとして活動した後、1980年からパリ管弦楽団の首席ソロホルン奏者を務める。ソロ奏者として、エッセンバッハ、ヤルヴィ、ピシュコフ、サヴァリッシュ、バッパーらの指揮者と共演。また室内楽の分野においては、バレンボイム、ターリヒ弦楽四重奏団、バスカル・ロジェ、ラベック姉妹、J=P・ランバル、バユ、エッセンバッハ、エマール、ベレゾフスキーらと共演している。レパートリーは18世紀から現代まで幅広く、作曲家がホルンのための作品を彼に献呈し、それを初演することもあり、プラムスとリゲティの三重奏曲の録音はディスク・グランプリを受賞。2011年ヴィクトワール・ドゥ・ラムジーク受賞。シュヴァリエ芸術文化勲章受賞。



ギヨーム・コテ＝デュムラン(トロンボーン)

10歳の時にサン＝ジャン・ドルブの音楽学校でユーフォニアムを始める。1993年パリ国立高等音楽院に入学。96年ユーフォニアムと室内楽において1等賞を得て卒業。95年からトロンボーン演奏を始め、97年パリ国立高等音楽院のジル・ミリエールのクラスに入る。2000年に1等賞を得る。01年エッセンバッハが首席指揮者を務めるパリ管弦楽団の首席ソロ奏者に就任。02年よりミリエールトロンボーン四重奏団メンバー。03年フィンランドリエクサ国際コンクールにおいて3位入賞。13年よりヴェルサイユ地方音楽院トロンボーン科教授。



ステファン・ラベリ(チューバ)

1991年トゥールーズ国立地方音楽院を審査員満場一致にて金メダル。同年リヨン国立高等音楽院に入学。95年満場一致の優秀賞で卒業。95年シドニー国際チューバコンクール、96年マルク・ノイキルヒェン国際コンクール、97年リヴァ・デル・ガルダ(イタリア)国際コンクールでいずれも優勝。08年ポルチア国際コンクール(イタリア)2位。2000年ソリストとしてミシェル・ブラッソン指揮フランス国立キャピトル・トゥールーズ管弦楽団に招かれた。"チューバのバプロ・カザルス"と称される。また、ヴィクトワール・ドゥ・ラムジーク賞をペイ・ドゥ・ラ・ロワール(ロワール県)管弦楽団とともに受賞。リサイタルや室内楽、音楽祭でも活躍し、録音においてはCD「Rencontre(出会い)」がディアパン誌において4つ星を獲得した。国立リヨン歌劇管国立トゥールーズ・キャピトル管を経て、1999年10月、パリ管弦楽団の首席ソロ奏者に就任。



www.shibu-cul.jp

アクセス1: 渋谷駅より徒歩5分
国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスタワーの間に位置します
アクセス2: 大和田シャトルバスまたはハチ公バス(タヤけこやルート)にて乗車時間約2分
バス停「渋谷駅ハチ公」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

渋谷区文化総合センター大和田

SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21



2020
11/21

<https://youtu.be/ZWhNZbrEEic>

いいわ!クラシック
さくらホール
コンサート

過去の公演の様子は、
YouTubeにて配信中。

2022
1/28

<https://youtu.be/pWWy4K0s1LE>



渋谷のまちから未来の音楽家を育てませんか?

アートと音楽とまちづくりプロジェクト

2023「大和田ランチタイムコンサート」(全2回)

渋谷区では2014年よりプロの音楽家を志す演奏家たちに日ごろの成果を披露する場としてランチタイムコンサートを開催しています。2023年は、金管アンサンブルの登場です。

日時: 2023年7月7日(金)・8日(土) いずれも12:15~13:00

会場: 渋谷区文化総合センター大和田1F・彫刻「天秘」(安田侃・作)を囲んで

※屋外のため悪天候の場合は中止になる場合がございます

観覧: 無料。未就学児大歓迎!!(予約不要、立ち見となります)

出演: 7月7日(金) 柔(やわら)プラス(Tp 守屋紗弥 Tp 武藤向日葵 Hr 吉田智就 Tb 藤島裕也 Tuba 長澤照平)

7月8日(土) TS brass(Tp 冨岡愛彩美 Tp 三上まどか Hr 井澤凜一 Tb 佐々木美桜 Tuba 松本匡信)

※詳細については、後日大和田公式ホームページにて発表。



安田侃「天秘」